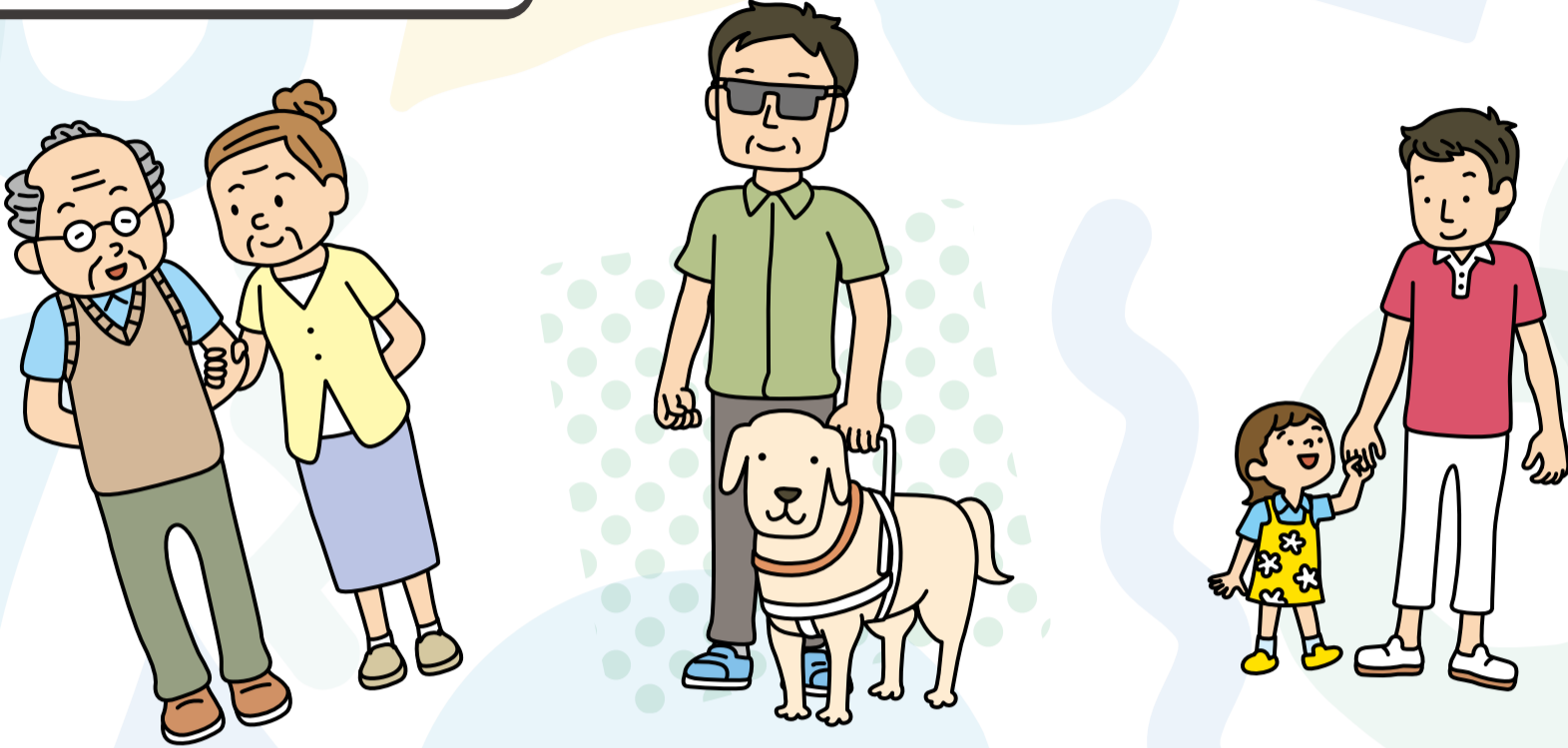


市の人口と予算 (9月1日現在)

人口・世帯 ()内は前月比/前年同月比	
合計	=207,608人 (+359/+4,388)
男	=102,027人 (+186/+1,977)
女	=105,581人 (+173/+2,411)
世帯	=87,333世帯 (+162/+2,269)
予算	
一般会計	=747億4,668万2千円
特別・公営企業会計	=448億4,765万9千円

特集:誰もが自分らしく暮らせるまち

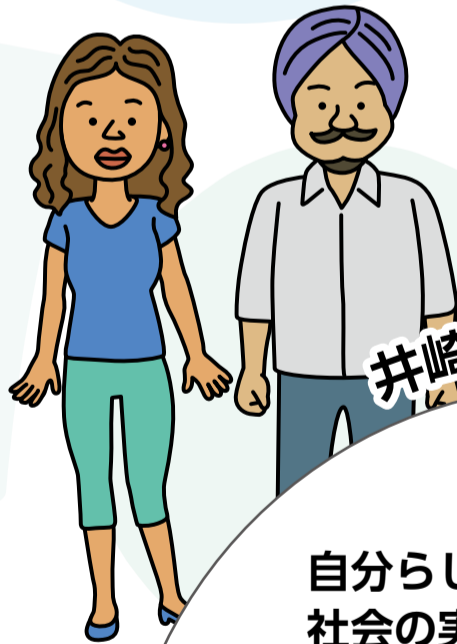


「多様性」が未来を変える

流山市では、全ての人が性別、国籍、障害の有無などにとらわれず、誰もが自分らしく暮らせるまちにするため、(仮称)流山市多様性を尊重する社会の推進条例の制定を目指します。

今号では、多様性社会の実現に向けた市の取り組みや相談窓口、そして、さまざまな立場で活躍する方々を紹介します。

☎企画政策課 ☎7150-6064



井崎市長からのメッセージ

自分らしさを発揮できる社会の実現へ

現在、流山市の人口は約20万7千人。その一人ひとりに「違い」があります。さまざまな違いを知り、受け入れ合うことで、誰もが自分らしく暮らせるまちになります。

今年度、流山市は多様性社会を尊重するための条例制定を目指します。今後、学校や地域社会での教育はもとより、防災・災害などでも多様性の視点に配慮した取り組みを検討します。

固定観念にとらわれず、一人ひとりの個性を理解し、人権を守ることが、多様性を受け入れ合う第一歩だと思います。皆さまも今号を通して、多様性について考えてみませんか。

流山市長 井崎 義治



自分らしさを発揮できる社会を目指して 条例制定に向けた未来への思い

流山市が誰もが住みやすく調和のとれたまちになるために、さまざまな立場で活躍する方々から、条例制定に向けた未来への思いを話してもらいました。

LGBT(性的少数者)は
身近であり、
個性のひとつです

YouTuber
ミュータントウェーブ



あさひ(左)、おおちゃん(中央)、まさ(右。流山市出身)

僕たちミュータントウェーブは、あさひ・おおちゃん・まさの3人組YouTuberです。3人の共通点は「なでしこリーグの元女子サッカー選手で、性別適合手術を受け、今は戸籍上の性別を男性として生きている」ところ。現在はYouTubeで一人ひとりの違いや個性について発信したり、全国の小・中学校でジェンダー教育の出張授業を行ったりしています。

僕たちは、小学生の頃から自身の性に違和感を抱いていました。なぜ制服はスカートなのか、「女の子らしくしなさい」とはどういうことなのか。当時はスマートフォンなど、調べるものがなかったので、理由が分からないままでした。ただ、サッカーに没頭していたので、学生の頃はそこまで不自由なく過ごしていました。

しかし、サッカー選手を引退後、性別適合手術やホルモン治療を受け

て就職活動をする、さまざまな壁にぶつかりました。採用面接では性に関する質問が相次ぎ、トランスジェンダー(性自認と身体的性が異なる)を理由に「取引先との関係が崩れる」と内定を取り消されることもあり。その時、「世間はこんなにもLGBTに冷たいのか」と感じましたが、「世間の風潮を変えたい」と思い、現在の活動を始めました。

日本では、LGBTに該当する方が8.9パーセントいるといわれています。これは日本で多い名字である「佐藤」「鈴木」「高橋」「田中」「渡辺」「伊藤」「中村」「小林」さんの合計の割合とほぼ同じです。皆さんの周りにも、これらの名字の方が何人かいませんか。それだけLGBTの方は身近にいます。

流山市は人口が増え続けており、全国から、世界から、さまざまな人が集まる市だと思えます。だからこそ、「多様性を認め合うまち」になってほしいです。LGBTだからといって何か特別視するのではなく、数多くある個性のひとつだと思ってもらえればうれしいです。



義足を見て、
かっこいいと言われると
うれしいです

流山高等学園2年生
福田 柚稀さん



東京2020
パラリンピック
開会式に出演

先天性の病気が原因で、僕は生後9カ月で右足を失いました。しかし、2歳から義足を付けるようになり、今は短距離走に夢中になっています。将来の夢はパラリンピックに出場することです。

今でこそ義足を気にせず普通に生活していますが、かつては、同級生にからかわれて隠したいと思う時期がありました。しかし、義足を恥ずかしながら見せることで、周りからのサポートがあり、人生が明るくなった気がします。むしろ見てもらって、ロボットみたいでかっこいいと言ってもらえるとうれしいです。

流山市は多様性を尊重するまちを目指すと聞きました。僕自身は「10代で足がなくても、こんなことができる」ということを知ってもらいたいと思っています。だから、僕と同じように障害を抱えている方も恥ずかしくならず、さまざまなことにチャレンジしてほしいです。そんなことが当たり前のようにできる市になってほしいです。



自分らしく
暮らすためにも、
積極的に交流を

流山市人権擁護委員
ヘンリー・シールズさん



私は、アフリカ系アメリカ人でしたが日本に帰化し、流山市には約13年間住んでいます。現在は流山市の人権擁護委員として、主に子どもや外国人の人権相談を受けています。

今でこそ、相談を受ける立場になりましたが、日本に来た頃は人種や文化の違いで苦勞をしました。しかし私自身は、近所の方々と交流や自治会活動に積極的に参加することで、だんだんと受け入れてもらえるようになりました。しかし、日本では外国人が自分らしく暮らせる環境を見つけにくく感じるのが、正直あります。

私は条例制定をきっかけに、流山市がより一層誰もが自分らしく暮らせるまちになってほしいです。そのためにも、昔から住んでいる方も新しく住みだした方も、勇気を持って積極的に交流してみてください。そうすれば、皆さんにとって、流山市がもっと住みやすいまちになるはずですから。



思いを「かたち」に 多様性社会に向けた流山市の取り組み

多様なニーズに応えるため、 制服の選択制を採用

令和4年4月に開校した流山市立おおぐろの森中学校では、市内中学校で初となるブレザータイプを採用し、多様なニーズに応えられるよう、スラックスとスカート、ネクタイとリボンを選択して組み合わせられるようにしています。今後、各学校でも検討していきます。



☎ 学校施設課 ☎ 7157-2755

市総合運動公園や南流山中央公園に インクルーシブ遊具の設置

インクルーシブ遊具とは、障害のある子どもも無い子どもと一緒に楽しく遊べる遊具のことです。転倒してもケガをしにくいクッション性に優れたドーム型遊具やいろいろな姿勢で乗ることができるブランコなどを設置しました。



☎ 岡みどりの課 ☎ 7150-6092

「学び」「気づき」のきっかけに、参加しませんか

女性の視点で! エンパワメント防災講座

防災において女性の視点が重要であることが周知されてきましたが、実際の災害現場や支援の現場では、どのような困難があり、どのような対策が求められているのでしょうか。本講座では、実際の災害現場での現状や、避難者支援の状況についてお話を聞きながら、女性視点での防災について考えます。



☎ 10月20日(木)10時~12時

☎ 生涯学習センター(流山エルズ)

☎ 埼玉県男女共同参画推進センター事業コーディネーター・薄井篤子さん

☎ 定25人(先着順) ☎ 無料

☎ 市ホームページから電子申請または講座申込専用電話(☎080-5494-2323)※1歳~就学前児の一時保育あり(先着10人。10月5日までに要申し込み。保育カード送付のためメールアドレスまたは住所が必要)

☎ 企画政策課 ☎ 7150-6064 ☎ ID1003422

なるほど
歴史講座

ジェンダーの視点から見た日本史 日本史は女性をどう描いたか

古代から近世まで、女性がどう政治空間に参画してきたのか、また排除されてきたのか。労働や暮らしの中で、性差はどのような役割を果たしたのか。日本史にあらわれる性差にスポットを当てて考察し、ジェンダーの視点から歴史を読み解きます。



☎ 10月22日(土)13時30分~15時30分

☎ 生涯学習センター(流山エルズ)

☎ 国立歴史民俗博物館名誉教授・横山百合子さん

☎ 定50人(先着順) ☎ 無料

☎ 市ホームページから電子申請または講座申込専用電話(☎080-5494-2323)※1歳~就学前児の一時保育あり(先着10人。10月7日までに要申し込み。保育カード送付のためメールアドレスまたは住所が必要)

☎ 企画政策課 ☎ 7150-6064 ☎ ID1003422

パパスクール2022

パパとベビーで楽しもう~毎日が楽しくなるパパのメソッド~

子育て世代が多く転入している流山市。リモートワークなどが浸透する中で、パパが地域で生活する時間が増加しています。パパの育児参画を応援し、地域でのパパ同士の交流を図り、楽しく子育てするための情報を提供します。イベントの詳細は、今後の広報ながれやまでお知らせします。

☎ 11月12日・26日、12月10日の土曜10時~12時

☎ 生涯学習センター(流山エルズ)

☎ 子育て中のパパとお子さん ☎ 定各15組(先着順)

☎ 10月1日より市ホームページから電子申請または講座申込専用電話(☎080-5494-2323)

☎ 企画政策課 ☎ 7150-6064



男女共同参画啓発パネル展

男女共同参画社会について考えるパネル展です。

☎ 令和5年2月28日(火)~3月6日(月)

☎ 南流山センター

☎ 企画政策課 ☎ 7150-6064



もしもあなたが悩みを抱えていたら相談してみませんか

人権相談

みんなの人権110番(全国共通人権相談ダイヤル)

▷受付時間＝平日8時30分～17時15分
☎0570-003-110

女性の人権ホットライン

▷受付時間＝平日8時30分～17時15分
☎0570-070-810

子どもの人権110番

▷受付時間＝平日8時30分～17時15分
☎0120-007-110

人権相談

千葉地方法務局松戸支局で人権擁護委員による人権相談を行っています。

☎千葉地方法務局松戸支局

☎047-363-6278

▷受付時間＝平日10時～16時(12時～13時は除く)

市民相談室

弁護士・人権擁護委員・行政相談員・行政書士などの専門家が、市役所の市民相談室にて皆さまのご相談に応じます。相談料は無料です。お気軽にご利用ください。

☎市民相談室 ☎7158-1616

生活でお困りの外国人相談

「流山市国際理解サポートセンター」は、外国人市民の皆さんが毎日の生活で困っていることや、悩んでいることの相談(市が関わるができる内容のみ)をお受けしています。

場所は、江戸川台駅前庁舎3階で、一番近い駅は東武アーバンパークライン江戸川台駅です。お気軽にご相談ください。

相談できる日は、毎週月曜日、水曜日、金曜日で、時間は10時～12時と13時～16時です。日本語または英語で対応します。そのほかの言語はご相談ください。

問い合わせ：流山市国際理解サポートセンター

☎7128-6007(月・水・金曜日10時～16時)

☎企画政策課 ☎7150-6064

“Nagareyama International Understanding Support Center” offers advice to foreign residents who have trouble in daily city life. (Only for troubles related to the city administration)

The support center is located on the 3rd floor of the Nagareyama city office Edogawadai Branch Bldg. near Tobu Urban Park Line Edogawadai station.

Feel free to visit us.

Office Hour : 10am to 4pm (Except noon to 1pm)

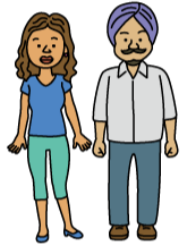
Monday, Wednesday and Friday

Languages available : Japanese and English

Please ask for other languages if needed.

Contact : Nagareyama International Understanding Support Center

☎7128-6007



障害に関する相談

障害のある人やその家族を対象に、生活や就労、福祉サービスの利用などに関する、さまざまな相談を社会福祉士や精神保健福祉士などの専門的な資格を持った相談員がお受けします。

●北部地域

☎西深井地域生活支援センターすみれ(西深井390-1)

☎7154-6202 FAX 7192-6200

☎sumire3202@mx1.alpha-web.ne.jp

●東部地域

☎相談支援センターまほろば(野々下1-319)

☎7196-7803 FAX 7147-2680

☎soudan@mahorobanosato.or.jp

●南部地域

☎相談支援事業所PHARÉ(南流山1-14-8)

☎7136-2933 FAX 7136-2644

☎welcome-phare@theia.ocn.ne.jp

☎障害者支援課 ☎7150-6081



女性の生き方相談

女性の抱えるさまざまな悩みを、経験豊富な女性相談員やカウンセラーと一緒に考える「女性の生き方相談」を実施しています。

自分自身のこと、家族のこと、職場や友人・知人との人間関係などで悩んでいませんか。一人で悩まずに、まずはご相談ください。電話による相談も受け付けています。

▷開設日時＝相談：毎月第1・2金曜、カウンセリング：毎月第3・4

金曜日いずれも10時～16時(祝日除く)※1回50分以内。事前予約

☎市役所

☎無料

☎電話※1歳～就学前児の一時保育あり(相談希望日の2週間前までに要申し込み)

☎企画政策課男女共同参画室 ☎7150-6091

高齢者なんでも相談

高齢者なんでも相談室(地域包括支援センター)は市内5つの担当地域に分かれており、高齢者の健康・福祉・介護・医療などのさまざまな相談を主任ケアマネジャー、保健師、社会福祉士などの専門職が連携して、適切なサービスや情報、制度の利用につなげます。

●北部高齢者なんでも相談室

☎7155-5366 FAX 7154-3207

●北部西高齢者なんでも相談室(特別養護老人ホーム花のいろ内)

☎7197-1378 FAX 7197-1615

●中部高齢者なんでも相談室(東葛病院付属診療所内)

☎7150-2953 FAX 7158-8419

●東部高齢者なんでも相談室(特別養護老人ホームあざみ苑内)

☎7148-5665 FAX 7141-2280

●南部高齢者なんでも相談室(流山市ケアセンター2階)

☎7159-9981 FAX 7178-8555

☎高齢者支援課 ☎7150-6080 ID 1000907



家庭でのお困りごと相談

おやこあんしん相談

保育士の経験をもつ子育てコーディネーターが子育て全般に関する相談にお応えしています。どこに相談してよいか分からない時は、こちらへご相談ください。

▷受付時間＝平日9時～16時

☎市役所

☎おやこあんしんダイヤル ☎7158-1710

子ども家庭悩みごと相談

18歳未満の子どもに関する相談にお応えしています。子育てで悩んでいること、困っていることなど、お気軽にご相談ください。お子さん本人からの相談も受け付けています。

▷受付時間＝平日9時～17時

☎市役所

☎家庭児童相談室 ☎7158-4144

